

## 議題(3) 市民意見の募集結果について

### 1. 概要

#### ★ パブリックコメント

- ・ 募集期間：平成25年(2013年)1月4日(金)～2月4日(月)
- ・ 提出者数：241名(449件)

#### ☆ 説明会

- ・ 1月15日(火) 14:00～15:30 中央生涯学習センター(参加者：8名)
- ・ 1月16日(水) 14:10～15:40 スノーピーク箕面自然館(参加者：1名)
- ・ 1月17日(木) 14:30～16:00 東生涯学習センター(参加者：24名)
- ・ 1月19日(土) 14:30～16:00 市民活動センター(参加者：8名)
- ・ 1月22日(火) 10:00～11:30 西南公民館(参加者：6名)

### (1) オレンジゆずるバス(平日)に関する市民意見

#### A 運行計画(素案) 44件(★パブリックコメント：41件、☆説明会：3件)

1. 今後もオレンジゆずるバスは存続すべきである。(★40件、☆0件)
2. 納得できる運行計画(案)だと思う。(★0件、☆1件)
3. 収支の見通しは、今回の運行計画(素案)で達成できるのか。(★0件、☆1件)
4. 効率性だけを重視せず、公共性を重視したサービスを検討してほしい。(★0件、☆1件)
5. 市民全体への平等なサービス提供を前提に、路線やバス停を整備してほしい。(★1件、☆0件)

B 運行ルート 335件 (★パブリックコメント：328件、☆説明会：7件)

1. 主要施設を一周する基幹バスとその周辺を循環するローカルバスを組み合わせたバスルートにしてほしい。(★0件、☆1件)
2. 桜井地域や粟生間谷において、一方向の運行でなく、左右両回りを検討してほしい。(★1件、☆1件)
3. ルートは現状を維持してほしい。(★4件、☆0件)
4. 平日についても、スカイアリーナへの立ち寄りを実現してほしい。(★1件、☆0件)
5. 平和台でのバス停新設は望ましいと思う。(★1件、☆0件)
6. 白島北、石丸、青松園中央地区におけるルートの存続を実現してほしい。(★3件、☆0件)
7. 小野原地域におけるルートの存続を実現してほしい。(★172件、☆0件)
8. 豊川駅や彩都西駅への延伸を実現してほしい。(★1件、☆0件)
9. 粟生間谷西地域におけるルートの存続を実現してほしい。(★46件、☆2件)
10. 粟生間谷西地域におけるショートカット後のバス停については、利便性・安全性の観点から問題があるのではないか。(★39件、☆1件)
11. 粟生間谷西地域は利用者が少なく、バス停の廃止は妥当だと思う。(★2件、☆0件)
12. 東生涯学習センターをはじめとする公共施設へのアクセス性を確保するため、市域東部の南北移動を支える路線を強化してほしい。(★1件、☆0件)
13. 住宅開発にあわせて、彩都地域への路線延伸を実現してほしい。(★2件、☆0件)
14. 間谷北公園前の利用者が少ないので、ショートカットすべきである。(★0件、☆1件)
15. 粟生団地の運行について、買物目的の利用にあわせて、ルートの両回り化や商業施設前でのバス停設置を実現してほしい。(★2件、☆0件)
16. 粟生間谷地域から市中心部へ速達性・利便性の高いルートを整備してほしい。(★44件、☆1件)
17. 東行きの山手公園前バス停は、周辺環境が危険であるため、南側バス停を活かしたルートにしてほしい。(★1件、☆0件)
18. 平日夜間や土曜日の運行について、市立病院への立ち寄りは必要ないと思う。(★1件、☆0件)
19. 黄ルートについて、かやの中央への運行を継続してほしい。(★1件、☆0件)
20. 道路幅員の狭い桜井駅前から紅葉橋通りの南端については、ルート見直し、もしくは道路幅員の拡幅を行ってほしい。(★1件、☆0件)
21. 桜井地域から箕面駅を経由することで、市立病院まで時間がかかるのは不便である。(★2件、☆0件)
22. 青ルートについて、桜ヶ丘地域から箕面駅を経由してほしい。(★1件、☆0件)
23. 箕面森町にも路線を設定すべきである。(★2件、☆0件)

C バス停 2件 (★ パブリックコメント：1件、☆ 説明会：1件)

1. 白島バス停 (北行き) にベンチを設置してほしい。(★1件、☆1件)

D 運行ダイヤ 54件 (★ パブリックコメント：47件、☆ 説明会：7件)

1. パターンダイヤは望ましい。(★5件、☆1件)
2. 乗継利便性の高いダイヤにしてほしい。(★1件、☆1件)
3. 登校目的にあわせて、船場団地から第四中学校前まで増便してほしい。(★2件、☆1件)
4. 路線バスとの連携を図ってほしい。(★1件、☆3件)
5. 主要ターミナルでの時間調整を減らしてほしい。(★0件、☆1件)
6. 運行時間帯によっては、利用者が多く着席できず、高齢者には不親切であるため、ダイヤを見直してほしい。(★38件、☆0件)

E 運賃制度 15件 (★ パブリックコメント：7件、☆ 説明会：8件)

1. 運賃設定により、市民の税金負担を下げる努力をしてほしい。(★0件、☆1件)
2. 高齢者やひとり親の子育て世代など、低所得者層に優しい運賃体系にしてほしい。  
(★1件、☆0件)
3. 一日乗車券の設定は望ましい。(★2件、☆3件)
4. 一日乗車券が、1日400円であることは望ましい。(★1件、☆0件)
5. 一日乗車券が、1日400円は高いと思う。(★0件、☆1件)
6. 一日乗車券よりも乗継割引の方が有効だと思う。(★1件、☆0件)
7. 乗継を考慮した料金設定が望ましい(★1件、☆2件)
8. 森町地区からの乗継の際、負担増にならないようにしてほしい。(★1件、☆1件)

F 車両 5件 (★ パブリックコメント：2件、☆ 説明会：3件)

1. 車両が小さく、利用しづらい。(★0件、☆1件)
2. イベントの告知など、車内を有効に活用するべきである。(★1件、☆0件)
3. 整理券を発行してほしい(★0件、☆1件)
4. 乗車口にハニカの読取機を設置してほしい。(★0件、☆1件)
5. 騒音などが発生しているので、全車で再点検をしてほしい(★1件、☆0件)

G その他 22件 (★ パブリックコメント：13件、☆ 説明会：9件)

1. 土曜日も休日運行ではなく、平日と同様の運行内容であることを市民にしっかり周知してほしい。(★0件、☆1件)
2. オレンジゆずるバスの安全な運行を支えるため、運行の妨げになっている違法駐車車両の排除に向けた取り組みを、警察とともに進めたほうがよい。(★1件、☆1件)
3. 商業従事者や乗らない人を対象に、オレンジゆずるバスの運行を支援するシステムを創設するといいい。(★4件、☆1件)
4. 商業従事者への働きかけをより積極的に行うべきである。(★1件、☆1件)
5. 広告収入の確保など、市民の税金負担を下げる努力をしてほしい。(★0件、☆1件)
6. オレンジゆずるバスについて、市民や市議会議員がもっと関心を持つべきである。  
(★2件、☆0件)
7. 社会福祉協議会をはじめとする市民意見をもっと集約するべきである。(★1件、☆1件)
8. 北大阪急行線の延伸費用を節約し、オレンジゆずるバスのサービス向上に充当するほうが良いのではないか。(★1件、☆0件)
9. 大学が運行しているスクールバスとの共同運行は実現できないのか。(★1件、☆0件)
10. より安全な運行を心がけてほしい。(★0件、☆1件)
11. ヴィソラのエコショッピング制度が分かりにくいので、分かりやすく周知してほしい。(★0件、☆1件)
12. オレンジゆずるバスでサービスが十分に提供できない地域については、民間の交通事業者へもサービス改善の働きかけを進めてほしい。(★1件、☆1件)
13. 運行にかかる経営的な課題なども、市民に情報提供した方がよい。(★1件、☆0件)

※ 同一の方が複数の意見を提出しているため、提出者数とは整合しません。

## (2) お買物バス (休日)

### A 運行ルート 10件 (★ パブリックコメント：5件、☆ 説明会：5件)

1. 平日と運行内容を分ける必要はない。(★1件、☆2件)
2. 市民の混乱を避けるため、ルートは平日とあわせて、運行時間帯だけを短くすればよい。(★1件、☆0件)
3. 豊川住宅や桜井地区など、市域全体から、市中心部であるかやの中央や箕面駅へのアクセス性を重視したルートにしてほしい。(★2件、☆1件)
4. 箕面六丁目付近の商業施設への利便性を確保した運行内容にしてほしい。  
(★0件、☆1件)
5. スカイアリーナはクルマ利用が多く、バスの効果は少ないのではないかと。  
(★0件、☆1件)
6. 休日については、松寿荘を経由しないのは妥当だと思う。(★1件、☆0件)

### B 運行ダイヤ 4件 (★ パブリックコメント：2件、☆ 説明会：2件)

1. 乗継をスムーズにできる運行ダイヤにしてほしい。(★0件、☆1件)
2. 最終バスのダイヤをもう少し繰り下げた方がよいのではないかと。(★2件、☆1件)

### C 運賃制度 1件 (★ パブリックコメント：1件、☆ 説明会：0件)

1. 一日乗車券の設定は望ましい。(★1件、☆0件)

### D その他 2件 (★ パブリックコメント：2件、☆ 説明会：0件)

1. 市民の混乱を避けるためには、平日のオレンジゆずるバスとの違いを丁寧に周知しないとけない。(★2件、☆0件)

※ 同一の方が複数の意見を提出しているため、提出者数とは整合しません。

## 2. 市民意見に対する考え方 (案) について

市民から寄せられた意見に対する考え方 (案) については、別紙1のとおりである。

## オレンジゆずるバスの運行計画（素案）に対する募集意見と考え方

## (1) オレンジゆずるバス（平日）について

## A 運行計画（素案） 41 件

市民意見		考え方（案）
1	今後もオレンジゆずるバスは存続すべきである。(40 件)	<ul style="list-style-type: none"> <li>オレンジゆずるバスは、5 月から本格運行を実施します。引き続き、利用促進を図り、持続的な運行に努めます。</li> </ul>
2	市民全体への平等なサービス提供を前提に、路線やバス停を整備してほしい。(1 件)	<ul style="list-style-type: none"> <li>市内移動を円滑にするため、細い道路でも運行できるように小型バスを導入して、ルート設定をし、バス停の整備を進め、利便性の向上に努めています。</li> <li>ルート・バス停については、市民や自治会からの意見やアンケート調査等を踏まえ、市民も含めた協議会・分科会で議論を重ね、検討した計画となっています。</li> </ul>

## B 運行ルート 284 件

市民意見		考え方（案）
1	桜井地域や粟生間谷において、一方向の運行でなく、左右両回りを検討してほしい。(1 件)	<ul style="list-style-type: none"> <li>桜井地域、粟生間谷地域については、計画時点より両回りを検討しましたが、交通規制などにより両回りは困難な状況です。</li> <li>また、両回り運行にすると、一方向の運行頻度は半減してしまい、2 時間に 1 本のダイヤとなるため、アンケート調査でも、一方向の運行が良いとの結果が出ています。</li> </ul>
2	ルートは現状を維持してほしい。(4 件)	<ul style="list-style-type: none"> <li>ルートについては、基本的な考え方により、平成 25 年度以降持続可能な運行とするために実証運行の検証を踏まえ、一部ルートの見直しを行っています。</li> </ul>
3	平日についても、スカイアリーナへの立ち寄りを実現してほしい。(1 件)	<ul style="list-style-type: none"> <li>日曜日は、お買い物や娯楽を目的としているため、娯楽利用の多いスカイアリーナへのルートを選定しています。</li> <li>一方、平日の利用目的の多い市立病院や松寿荘への速達性を考慮するとスカイアリーナへの立ち寄りは、運行距離や運行時間の増加により、ルート全体へ影響を及ぼすことから、運行計画（素案）のとおりとします。</li> </ul>

4	平和台でのバス停新設は望ましいと思う。(1件)	<ul style="list-style-type: none"> <li>平和台地区の利用者は多く、地元からバス停新設の依頼があり、ルートの一部変更しても運行距離の変動もほとんどなく運行経費への影響は少ないとともに、当該地区からの新規需要を見込めるため、バス停を新設いたします。</li> </ul>
5	白島北、石丸、青松園中央地区におけるルートの存続を実現してほしい。(3件)	<ul style="list-style-type: none"> <li>石丸、青松園地区の見直し区間は、バス停の利用者数が少ないことから持続可能な運行をするのは困難なため廃止します。また、多少距離は伸びますが、最寄りのバス停をご利用下さい。</li> <li>また、箕面山麓線沿いには、路線バス（阪急バス）が運行しており、箕面駅、市立病院、かやの中央への代替えが可能です。</li> </ul>
6	小野原地域におけるルートの存続を実現してほしい。(172件)	<ul style="list-style-type: none"> <li>小野原東地域におけるルートについて、存続要望に向けて、地域から代替案が提案されました。さらに、地域ぐるみでバスの利用を呼びかけるなど利用者の増加に向けた取り組みが行われ、ルート実現に向けて、バス停の移動についても地域で調整がされています。</li> <li>この提案は、バスの運行時間に影響がなく、ルート全体に支障がないことと、地域の取り組みで利用者数の増加が見込まれ、収支見込みの改善とバス停の移動が可能であることからこの代替案へのルート変更を考えています。</li> </ul>
7	豊川駅への延伸を実現してほしい。(1件)	<ul style="list-style-type: none"> <li>豊川駅の乗り入れについての意向がほとんどなく、運行しても利用者数があまり見込めず、運行距離の増加による収支やルート全体への影響が大きくなるため、延伸は困難であると考えています。</li> </ul>
8	粟生間谷西地域におけるルートの存続を実現してほしい。また、現ルートの存続が困難なら以前のMバスのルートにしてほしい。(46件)	<ul style="list-style-type: none"> <li>以前から利用者の少ないルートであり、地域域の利用促進をお願いしていたところですが、現状の利用では、現在のルートで運行することは困難です。</li> <li>また、意見のあった以前のMバスのルートについては、全体の運行に影響はありませんが、利用者数の減少や利便性の悪化が懸念されるとともに、近隣自治会も賛同されなかったことから、運行計画（素案）のとおりとします。</li> </ul>
9	粟生間谷西地域におけるショートカット後のバス停については、利便性・安全性の観点から問題があるのではないか。(39件)	<ul style="list-style-type: none"> <li>交通管理者（箕面警察）や運行事業者と協議し、安全性をふまえ、代替バス停を設定しております。</li> <li>ただし、代替バス停設置については、地元の協力が必要となります。</li> </ul>

10	粟生間谷西地域は利用者が少なく、バス停の廃止は妥当だと思う。(2件)	<ul style="list-style-type: none"> <li>以前から利用者が少なく、見直しの意見があったなか、利用者の増加に向けた取り組みをお願いしていましたが、依然としてバス停の利用者数が少ないことから現状の利用では全体の運行に影響を及ぼすことからバス停を廃止します。</li> </ul>
11	粟生外院から阪急小野原住宅へ直接いく南北のルートを確認してほしい。(1件)	<ul style="list-style-type: none"> <li>粟生外院から主要な目的地に効率的な運行をするためには現ルートになります。</li> <li>目的地への乗り継ぎは1日乗車券を導入することで運賃の軽減を図りますので、多少の時間は要しますがご利用下さい。</li> </ul>
12	住宅開発にあわせて、彩都地域への路線延伸を実現してほしい。(2件)	<ul style="list-style-type: none"> <li>彩都地区については、土地区画整理事業者（UR都市機構）に彩都地区内のバス交通や彩都地区と箕面市内とのバス交通の整備を指導しているところです。</li> <li>オレンジゆずるバスは、全体の運行を見直すなかで、彩都への乗り入れは厳しい状況です。</li> <li>彩都地区の方がご利用の場合は、間谷北公園前や彩都粟生南二丁目のバス停をご利用下さい。</li> </ul>
13	粟生団地の運行について、買物目的の利用にあわせて、ルートの両回り化や商業施設前でのバス停設置を実現してほしい。(2件)	<ul style="list-style-type: none"> <li>逆回りのルートにすると、一部区間で運行に支障をきたす困難な状況です。また、アンケート調査でも両回りではなく、一方向が良いとの結果がでています。</li> <li>商業施設前のルートを追加すれば、運行距離の増加と速達性がなくなることから困難な状況です。</li> </ul>
14	東行きの山手公園前バス停は、周辺環境が危険であるため、南側バス停を活かしたルートにしてほしい。(1件)	<ul style="list-style-type: none"> <li>現計画では、どちらか一方の運行となることから、交通管理者（箕面警察）と協議の結果、ご意見のとおり南側バス停を通るルートに見直します。</li> </ul>
15	平日夜間や土曜日の運行について、市立病院への立ち寄りはないと思う。(1件)	<ul style="list-style-type: none"> <li>利用者数の実績より、1便あたりの利用者数が少ない19時台の夜間時刻帯を取りやめ、18時台までとしております。17時台以降の利用者数は1日の約15%もあり、利用者も多いことから利用者の混乱を避けるためにも市立病院への乗り入れを継続します。</li> <li>現在、土曜日の利用者数は、平日の8割程度を確保しており、利用者が多く需要予測を上回っているため、土曜便も運行します。</li> <li>なお、土曜日の市立病院バス停の利用者数は1日60人以上利用されており、利用者数が多いことから土曜日も運行いたします。</li> </ul>



16	黄ルートについて、かやの中央への運行を継続してほしい。(1件)	<ul style="list-style-type: none"> <li>アンケート調査でもかやの中央への運行をやめるようにという意見が多いため、小野原東地域については、赤ルートによるアクセスを可能としておりますので、行き先に応じてルートを使い分けていただくよう、お願いいたします。</li> <li>また、乗り継ぎにより目的地に行きやすいように1日乗車券を発行します。</li> </ul>
17	道路幅員の狭い桜井駅前から紅葉橋通りの南端については、ルート見直し、もしくは道路幅員の拡幅を行ってほしい。(1件)	<ul style="list-style-type: none"> <li>桜井駅から桜ヶ丘方面への利用者が多く、現ルートで運行します。</li> <li>道路拡幅の将来計画はありますが、具体的工事の予定はないことから、引き続き、運行にあたっては、道路管理者、警察と連携を図り、安全で円滑な運行に努めていく考えです。</li> </ul>
18	桜井地域から箕面駅を経由することで、市立病院まで時間がかかるのは不便である。(2件)	<ul style="list-style-type: none"> <li>速達性を求める意見を踏まえ、箕面駅を立寄らないルート案も検討しました。しかしながら、乗降調査をみると、箕面駅への利用者も多かったことを考慮し、また、利用実態やアンケート調査からも箕面駅方面へ利用が多く、箕面駅へのルート存続を行うこととしました。</li> </ul>
19	青ルートについて、桜ヶ丘地域から箕面駅を経由してほしい。(1件)	<ul style="list-style-type: none"> <li>乗降調査をみると西部地区から箕面駅の利用は少なく、西部地区から箕面駅を経由せず、目的地である市立病院等へ早く行けるように中部地域へ直通するルートを検討してほしいという市民意見や各種調査結果が多く、交通渋滞の多い地域への進入を避けることも考慮し、箕面駅に立ち寄らないルートとしました。</li> <li>また、西部地区から箕面駅については乗り継ぎや電車による交通手段が確保できると考えています。</li> </ul>
20	箕面森町にも路線を設定するべきである。(2件)	<ul style="list-style-type: none"> <li>止々呂美地区や箕面森町の北部地域におけるバスによる市内移動は、各種調査や市民意見を踏まえ、阪急バスの箕面森町線と連携を図ることから、かやの中央でオレンジゆずるバスとの乗り継ぎ割引を引き続き、箕面森町線のみ実施します。また1日乗車券を導入し、市内移動の利便性向上を図っていきます。</li> </ul>

C バス停 1件

市民意見		考え方（案）
1	白島バス停（北行き）にベンチを設置してほしい。（1件）	<ul style="list-style-type: none"> <li>ベンチは、バス利用者の快適性を確保するためには必要と考えています。また、白島バス停のベンチ設置は関係機関と調整し設置していく方向で検討したいと考えています。</li> </ul>

D 運行ダイヤ 47件

市民意見		考え方（案）
1	パターンダイヤは望ましい。（5件）	<ul style="list-style-type: none"> <li>利便性の向上に向け可能な限りパターンダイヤ化を図ります。</li> </ul>
2	乗継利便性の高いダイヤにしてほしい。（1件）	<ul style="list-style-type: none"> <li>すべてのバス停で考慮することは困難ですが、可能な限り乗り継ぎを考慮したダイヤ設定を図ります。</li> </ul>
3	登校目的にあわせて、船場団地から第四中学校前まで増便してほしい。（2件）	<ul style="list-style-type: none"> <li>箕面市教育委員会によると、市立小学校の通学は集団登校となっており、バス通学は認めていないことから、通学目的でのオレンジゆずるバス利用はできない状況です。</li> <li>朝の便の増便は新たな車両が必要となり、バス購入費用や運行経費などのコストが大幅に増加するため、対応は困難ですが、乗り継ぎしやすいダイヤ設定を考えていきます。</li> </ul>
4	路線バスとの連携を図ってほしい。（1件）	<ul style="list-style-type: none"> <li>引き続き阪急バスと可能な限り調整をし、乗り継ぎしやすいダイヤの設定を行います。</li> </ul>
5	運行時間帯によっては、利用者が多く着席できず、高齢者には不親切であるため、ダイヤを見直してほしい。（38件）	<ul style="list-style-type: none"> <li>オレンジゆずるバスでは、よりきめ細やかに運行を行い、利便性を確保するため、狭小な道路を通るルートを設定していることから、車両は小型化せざるを得ない状況です。そのため、座席数が限定されていることから座席については譲りあっていただくよう呼びかけを行っていますので、ご理解願います。</li> <li>なお、便数の増加や一部時間帯に集中させることは現状のバス台数では困難であると考えています。</li> </ul>

E 運賃制度 7件

市民意見		考え方（案）
1	高齢者やひとり親の子育て世代など、低所得者層に優しい運賃体系にしてほしい。（1件）	<ul style="list-style-type: none"> <li>運賃体系の中の割引運賃については、国の考えである移動制約者（身体的に移動が制約される者）として、障害者、高齢者を対象に導入するため、オレンジゆするバスでは、70歳以上の高齢者、障害者、とりわけ身体障害者に対して割引運賃を適用しています。</li> </ul>
2	一日乗車券の設定は望ましい。（2件）	<ul style="list-style-type: none"> <li>1日乗車券の発行により、利用者の増加を期待しています。</li> </ul>
3	一日乗車券が、1日400円であることは望ましい。（1件）	<ul style="list-style-type: none"> <li>1日乗車券の発行により、利用者の増加を期待しています。</li> </ul>
4	一日乗車券よりも乗継割引の方が有効だと思う。（1件）	<ul style="list-style-type: none"> <li>乗り継ぎ割引は、目的地まで乗り継ぎをする場合のみで利用でき、現行及び本格運行の運行ルートでは、東西間の移動がルートで可能なことから、利用が少ない状況です。</li> <li>そのため、1日乗車券の導入により往復利用料金で市内での立ち寄りが可能となり、利用者の利便性が向上することから、乗り継ぎ割引より1日乗車券が有効であると考えています。</li> </ul>
5	乗継を考慮した料金設定が望ましい（1件）	<ul style="list-style-type: none"> <li>乗り継ぎを考慮して、往復利用料金による1日乗車券を導入することから市内での立ち寄りが可能となり、利用者の乗り継ぎ利便性が向上します。</li> </ul>
6	森町地区からの乗継の際、負担増にならないようにしてほしい。（1件）	<ul style="list-style-type: none"> <li>乗り継ぎ割引は、目的地まで乗り継ぎをする場合のみで利用でき、現行及び本格運行の運行ルートでは、東西間の移動がルートで可能なことから、利用する機会が少ないが、1日乗車券の導入により往復利用料金で市内での立ち寄りが可能となります。</li> <li>なお、箕面森町線については、森町地区からの乗継にともなう負担増が発生しないよう、阪急バスとオレンジゆするバスの乗継割引を継続していきます。</li> </ul>

F 車両 2件

市民意見		考え方（案）
1	イベントの告知など、車内を有効に活用するべきである。（1件）	<ul style="list-style-type: none"> <li>イベントの告知などを行うバス車内の掲示物について、今後、車内の空きスペースの有効活用を検討していきたいと考えています。</li> </ul>
2	騒音などが発生しているので、全車で再点検をしてほしい。（1件）	<ul style="list-style-type: none"> <li>全車毎日、交通事業者で整備・点検を行い、不良車両については、随時メーカーによる点検も行い、順次部品交換等を行っております。また、運行にあたっては、引き続きアイドリングストップや安全運転など運転手への徹底指導に努めていく考えです。</li> </ul>

G その他 13件

市民意見		考え方（案）
1	オレンジゆずるバスの安全な運行を支えるため、運行の妨げになっている違法駐車車両の排除に向けた取り組みを、警察とともに進めたほうがよい。（1件）	<ul style="list-style-type: none"> <li>現在の運行においても、運行にあたっては、安全対策について道路管理者、警察と連携を図り、安全で円滑な運行に努めているところであり、引き続き、関係機関と連携を取りながら進めていきます。</li> </ul>
2	商業従事者や乗らない人を対象に、オレンジゆずるバスの運行を支援するシステムを創設するといいい。（4件）	<ul style="list-style-type: none"> <li>商業従事者に対する取り組みについては、平成23年度以降、継続的に実施しております。今後も、皆様の協力をいただきながら、商業者対象のサポーター制度の創設や乗らない人を対象とした応援制度など、より多様な応援システムの構築を積極的に検討していきます。</li> </ul>
3	商業従事者への働きかけをより積極的に行うべきである。（1件）	<ul style="list-style-type: none"> <li>商業従事者への働きかけとして、オレンジゆずるバスのステッカー、のぼりなどの掲示等をしていただくサポーター店について、今後も市民のみなさまの協力を得て、発掘していきたいと思えます。</li> </ul>
4	オレンジゆずるバスについて、市民や市議会議員がもっと関心を持つべきである。（2件）	<ul style="list-style-type: none"> <li>オレンジゆずるバスの運行については、市民や商業者等も参画している協議会や分科会市民部会を公開で実施し、運行に関する情報提供を市広報紙やホームページ上で行っております。</li> <li>また、市議会においては、運行経費の行政負担の予算などを審議していただくとともに、交通対策特別委員会で、オレンジゆずるバスを案件とした審議をしていただいています。</li> </ul>

5	<p>社会福祉協議会をはじめとする市民意見をもっと集約するべきである。 (1件)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>市民や商業者等も参画している協議会や分科会市民部会において、運行状況、各種調査結果、市民意見等をもとに、市民協働で検討を重ねており、運行計画（素案）についても、市広報紙での広報や、説明会やパブリックコメントの実施により、出来る限り市民の皆様へ情報提供し、運行計画（素案）への意見を取り入れるよう、努めています。</li> </ul>
6	<p>北大阪急行線の延伸費用を節約し、オレンジゆずるバスのサービス向上に充当するほうが良いのではないかと。 (1件)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>市の公共交通体系を考える上では、都市部への大量輸送機関である鉄道を幹線とし、鉄道駅を軸としたバス路線網を整備していく必要があり、北大阪急行線の延伸は、必要不可欠な事業であります。</li> <li>現在、千里中央駅や、北千里駅を拠点として他都市依存型の交通体系となっており、市域内を東西方向に移動する公共交通が不足しており、現状の市外の鉄道駅を中心とした交通体系では、鉄道整備なしに路線バスやオレンジゆずるバスなどのバスサービスを拡充するだけでは、限界があります。北大阪急行線の延伸により市内に鉄道駅を設置することで、はじめて新駅を軸とした路線バスのバス路線網の再編が可能となり、市内移動などの地域の利便性は大幅に充実できます。</li> </ul>
7	<p>大学が運行しているスクールバスとの共同運行は実現できないのか。(1件)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>大学が運行しているスクールバスとの共同運行については、時間帯の調整や保有台数、オレンジゆずるバスが大型バスの走れない地域を運行している小型バスであることから、学生の利用する時間帯やそのときの利用者数から、通常の運行に支障が出る恐れがあるため、実施は困難と考えています。</li> </ul>
8	<p>オレンジゆずるバスでサービスが十分に提供できない地域については、民間の交通事業者へもサービス改善の働きかけを進めてほしい。 (1件)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>オレンジゆずるバスと阪急バスは役割分担により共存共栄を図るため、競合関係ではなく、共存関係として、継続的にバスサービスの向上が図られるように連携しており、バスサービスの改善の働きかけも市から阪急バスに対してを行っています。</li> <li>具体的には、阪急バスの箕面山麓線については、利用者が少なく減便が考えられているなか、オレンジゆずるバスの実証運行をするにあたり、東部北地区から市内循環型を箕面駅へ直行する往復便にして増便してきました。</li> <li>引き続き、オレンジゆずるバスだけでなく、路線バスも含め、市内バス路線網の充実に努めたいと考えています。</li> </ul>

9	<p>運行にかかる経営的な課題なども、市民に情報提供した方が良い。(1件)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>利用状況や収支等の資料については、協議会、分科会、ホームページやパブリックコメントの資料に掲載しております。また、引き続き、積極的に情報提供していきます。</li> </ul>
---	---	---

(2) お買物バス(休日)について

A 運行ルート 5件

市民意見		考え方(案)
1	<p>平日と運行内容を分ける必要はない。(2件)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>日曜・祝日の利用者は、平日の6割しかなく、平日の利用目的と異なる日曜・祝日と同じルートで運行を継続することが困難な状況です。</li> <li>平日は医療施設や公共施設への移動が多い一方、休日は買物施設等への移動が多く、利用実態が異なることから、運行内容を区別することが、利用者の利便性向上につながると考えています。そのため、平日は本格運行に移行しますが、休日は、利用目的に応じた運行内容により、新たな実証運行を実施するものです。</li> </ul>
2	<p>豊川住宅や桜井地区など、市域全体から、市中心部であるかやの中央や箕面駅へのアクセス性を重視したルートにしてほしい。(2件)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>休日の(日曜・祝日)の運行計画では、各地域とその地域の拠点を結ぶルートと、市域全体からのアクセス性を確保するため、かやの中央や箕面駅、粟生団地を結ぶ基幹ルートを設定しています。</li> <li>そのため、豊川住宅や桜井地区などからは、箕面駅やかやの中央への移動については、乗り換えを前提にしています。</li> <li>1日乗車券を設定するなど、乗継利便性の高い運行の実現に向けた実証運行を行っていく考えですので、各ルートを組み合わせて、ご利用いただくようお願いします。</li> <li>乗り継ぎの待ち時間については、少しでも短縮できるように時刻(ダイヤ)を検討していきます。</li> </ul>
3	<p>休日については、松寿荘を經由しないのは妥当だと思う。(1件)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ご意見の通り、松寿荘については、施設の特性上、休日利用が見込めないことから、經由しないルート設定としています。</li> </ul>

B 運行ダイヤ 2件

市民意見		考え方（案）
1	最終バスのダイヤをもう少し繰り下げた方が良くはないか。（2件）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 休日の運行時間帯は、3年間の実証運行の結果から、休日の買物や娯楽での利用の場合、昼間時間帯が多いことから、運行計画（素案）通りの運行とします。</li> <li>・ なお、休日の運行は、実証運行（実験的な運行）となるため、運行期間中の利用状況を踏まえ、ダイヤ等運行内容について見直していく予定です。</li> </ul>

C 運賃制度 1件

市民意見		考え方（案）
1	一日乗車券の設定は望ましい。（1件）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 1日乗車券の発行により、利用者の増加を期待しています。</li> </ul>

D その他 2件

市民意見		考え方（案）
1	市民の混乱を避けるためには、平日のオレンジゆずるバスとの違いを丁寧に周知しないとイケない。（2件）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 平日と日曜日・祝日の運行ルートが異なるため、運行開始前に十分周知を図っていきます。また、時刻表等を箕面市内の全戸に配布を行うとともに、各施設などへの時刻表等の掲示や配布も合わせて周知活動を進めていきます。</li> <li>・ また、運行ルート名、バス車両表示、バス停表示においても違いが分かるよう工夫を検討しているところです。</li> </ul>

※ 一人の方が複数の意見を提出しているため、提出者数と意見数は同じではありません。